

23VoIPゲートウェイユニットのローカルバージョンアップ手順書

23VoIPゲートウェイユニット(以下、WGU という)のプログラムバージョンアップ手順を示します。ここでは、GXL-WGU をV1.0.1.0 からV1.0.1.1 へバージョンアップする場合を例として示しています。参考の画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

1. 準備

当社のホームページから、ご利用のシステムに合った最新のプログラムファイルをパソコンにダウンロードします。

<対象機種>

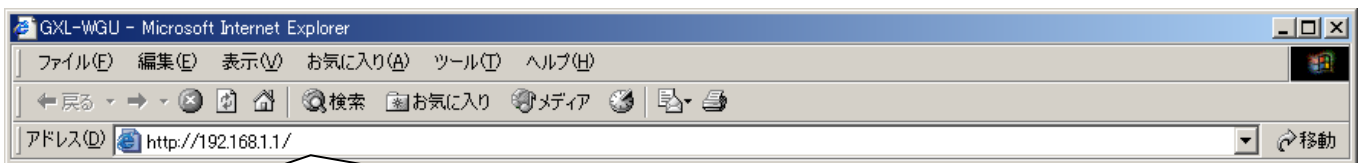
Netcommunity SYSTEM αGX typeL用 23VoIPゲートウェイユニット

<最新ファイル名>

ファイル名 gxlwgu-app1011.mot ファイルサイズ:約4MB

パソコンをLAN ケーブルで本商品に接続します。

2. ブラウザを起動して、本商品にログインします。



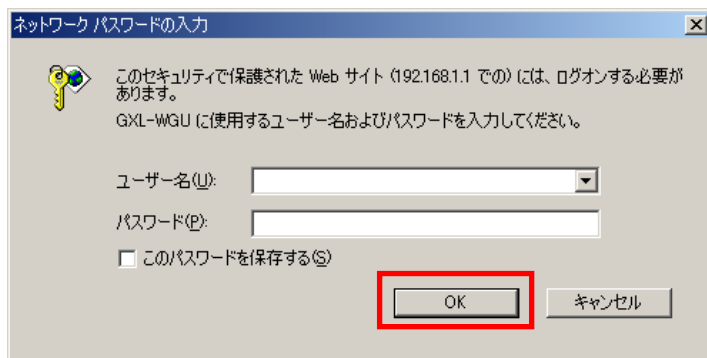
初期値:「192.168.1.1」

※IPアドレスを入れてもエラーになる場合は、システム管理者へご確認願います。

ブラウザソフトの「アドレス」に本商品のIP アドレス(初期値は192.168.1.1)を入力し、【Enter】キーを押します。

【IPブロードバンドルータユニット用ローカルファームアップ手順書】

＜ログイン後の画面＞



ネットワーク パスワードの入力

このセキュリティで保護された Web サイト (192.168.1.1) には、ログオンする必要があります。
GXL-WGU に使用するユーザー名およびパスワードを入力してください。

ユーザー名(U):

パスワード(P):

☐ このパスワードを保存する(S)

OK キャンセル

ユーザ名 : 空欄

パスワード: 空欄

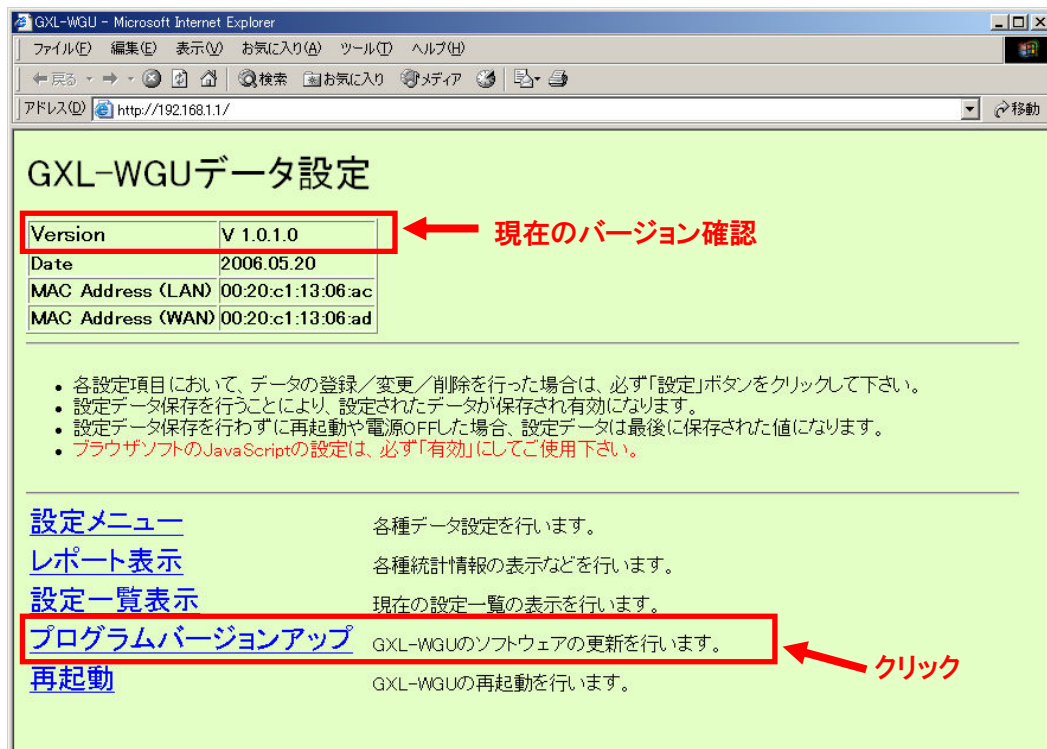
※初期値

パスワードの入力画面が表示されます。

「パスワード」にパスワードを入力します。(初期値はなし) (ユーザ名は空欄のままとします)

【OK】ボタンをクリックします。

3. プログラムバージョンアップを実施します。



GXL-WGUデータ設定

Version	V 1.0.1.0
Date	2006.05.20
MAC Address (LAN)	00:20:c1:13:06:ac
MAC Address (WAN)	00:20:c1:13:06:ad

← 現在のバージョン確認

- 各設定項目において、データの登録／変更／削除を行った場合は、必ず「設定」ボタンをクリックして下さい。
- 設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され有効になります。
- 設定データ保存を行わずに再起動や電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。
- ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用下さい。

設定メニュー 各種データ設定を行います。

レポート表示 各種統計情報の表示などを行います。

設定一覧表示 現在の設定一覧の表示を行います。

プログラムバージョンアップ GXL-WGUのソフトウェアの更新を行います。 ← クリック

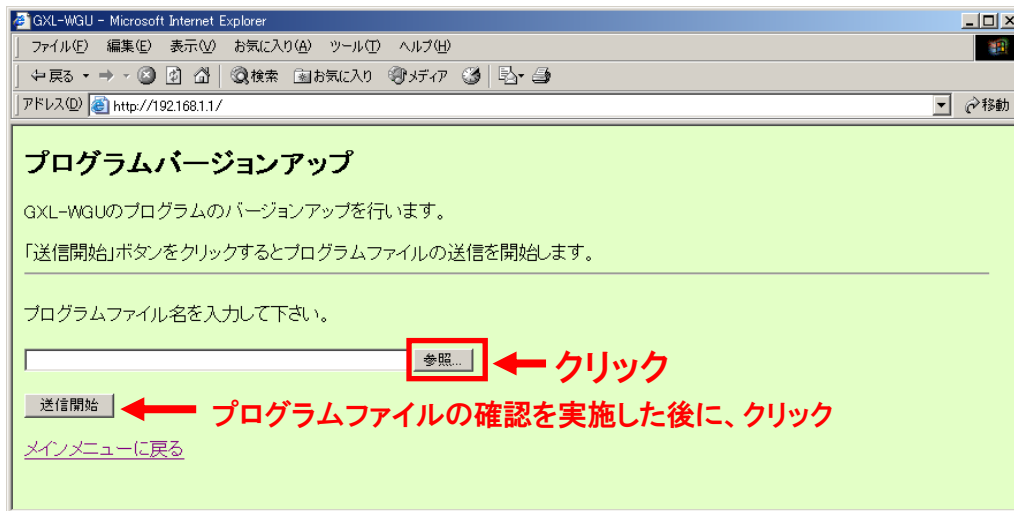
再起動 GXL-WGUの再起動を行います。

メインメニューが表示されます。

「Version」が最新でないことを確認してください。

【プログラムバージョンアップ】をクリックします。

【IPブロードバンドルータユニット用ローカルファームアップ手順書】



【参照…】ボタンをクリックし、弊社ホームページからダウンロードした最新プログラムファイルを選択します。

【選択するファイル名】 gxlwgu-app1011.mot
パソコンのデスクトップに保存した場合は、以下のとおり表示されます。
C:¥●●●¥○○○¥デスクトップ¥gxlwgu-app1011.mot

選択したプログラムファイルが表示されます。

表示されたファイルがダウンロードしたファイルであることを確認し、【送信開始】ボタンをクリックします。

(プログラムファイルの送信中です。)

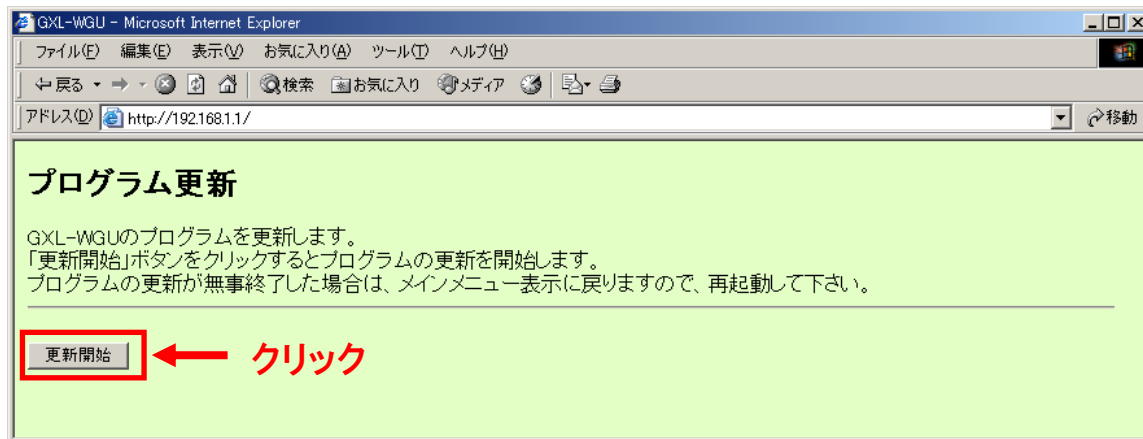
<注意>

プログラムファイルの送信は、約1分～2分程度要します。

この間、起動中のブラウザ操作等を行なわないようにして下さい。

【IPブロードバンドルータユニット用ローカルファームアップ手順書】

＜プログラム更新画面＞



【更新開始】ボタンをクリックします。

(プログラムの更新中です。)

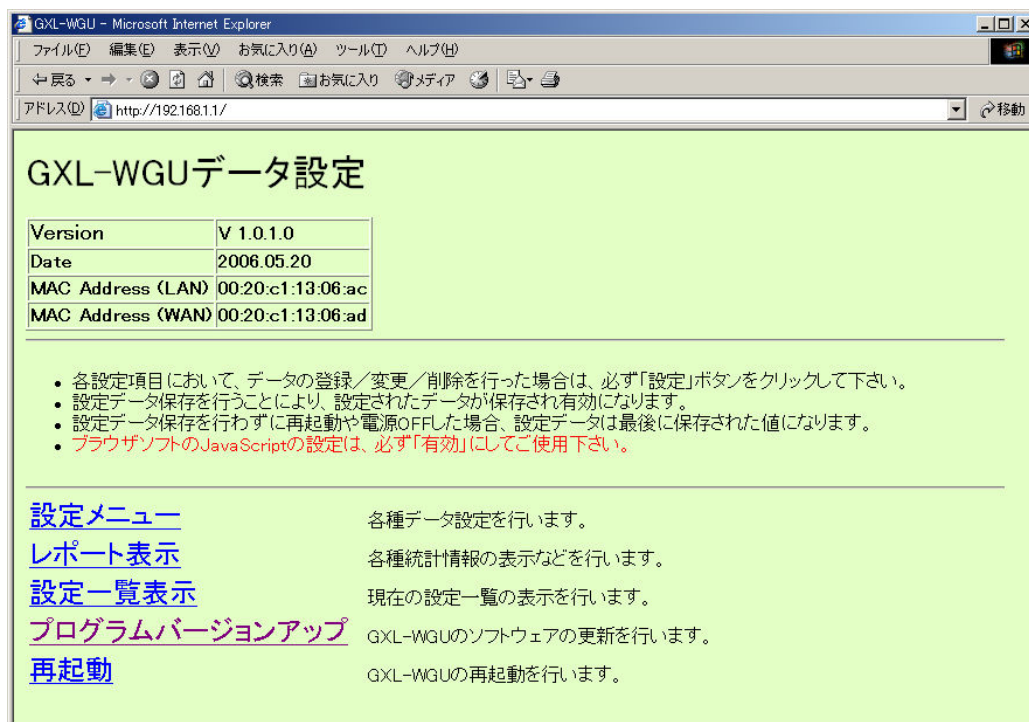
＜注意＞

本体ソフトウェアのプログラムファイルの更新を実施しております。

プログラム更新は、約1分～2分程度要します。

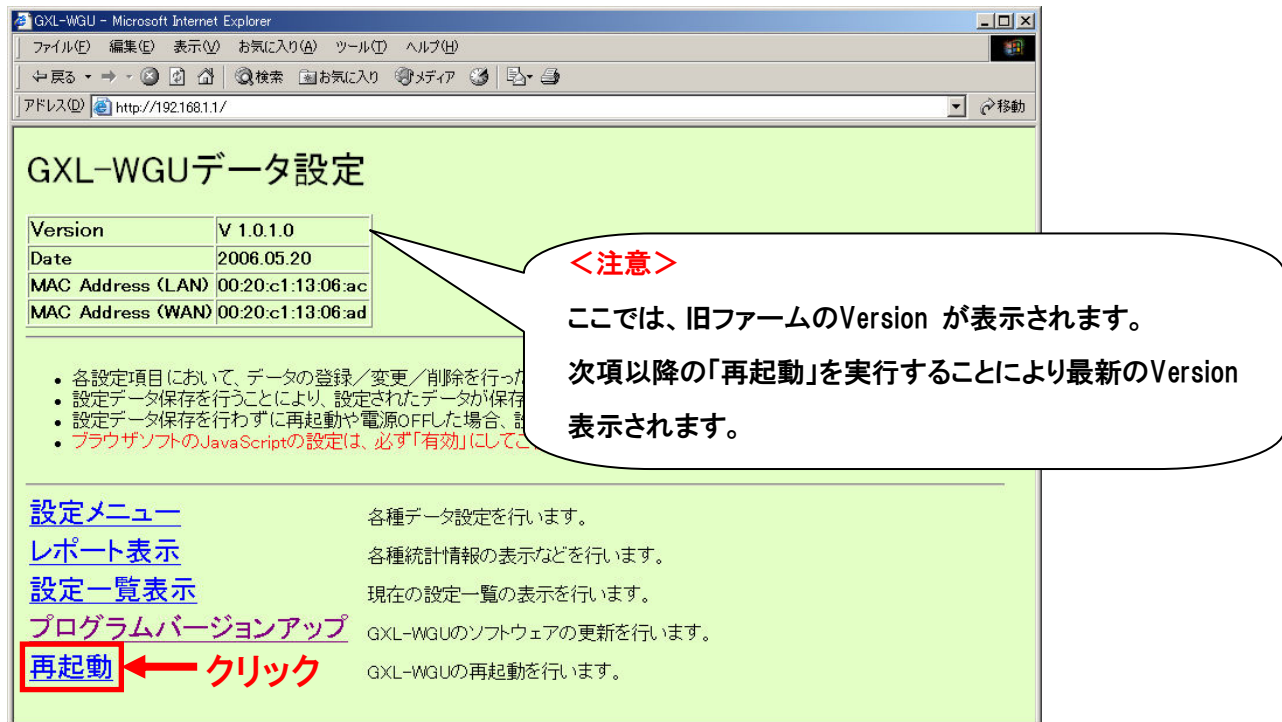
この間、起動中のブラウザ操作等を行なわないようにして下さい。

プログラムの更新後は自動的にメインメニューに戻ります。



【IPブロードバンドルータユニット用ローカルファームアップ手順書】

4.システムの再起動の実施。



GXL-WGUデータ設定

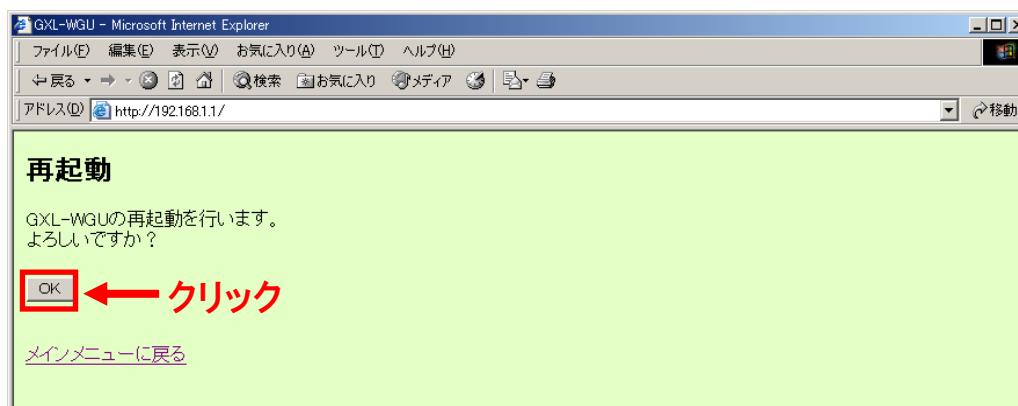
Version	V 1.0.1.0
Date	2006.05.20
MAC Address (LAN)	00:20:c1:13:06:ac
MAC Address (WAN)	00:20:c1:13:06:ad

<注意>
ここでは、旧ファームのVersion が表示されます。
次項以降の「再起動」を実行することにより最新のVersion 表示されます。

各設定項目において、データの登録／変更／削除を行った後、設定データを保存を行うことにより、設定されたデータが保存されます。設定データを保存を行わずに再起動や電源OFFした場合、設定データは破損する可能性があります。ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてください。

[設定メニュー](#) 各種データ設定を行います。
[レポート表示](#) 各種統計情報の表示などを行います。
[設定一覧表示](#) 現在の設定一覧の表示を行います。
[プログラムバージョンアップ](#) GXL-WGUのソフトウェアの更新を行います。
[再起動](#) ← クリック GXL-WGUの再起動を行います。

【再起動】ボタンをクリックします。



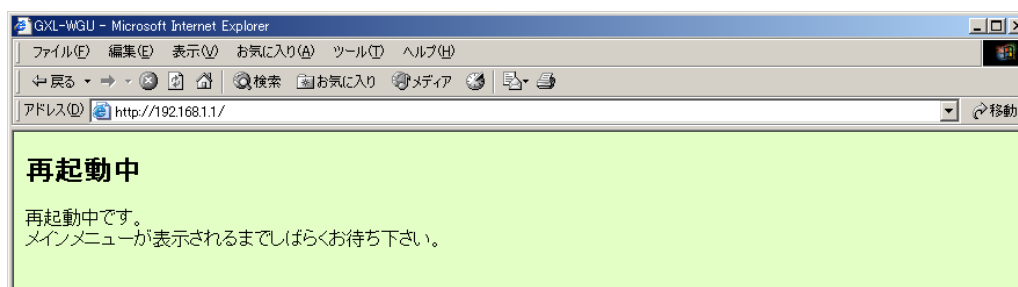
再起動

GXL-WGUの再起動を行います。
よろしいですか？

← クリック

[メインメニューに戻る](#)

【OK】をクリックします。



再起動中

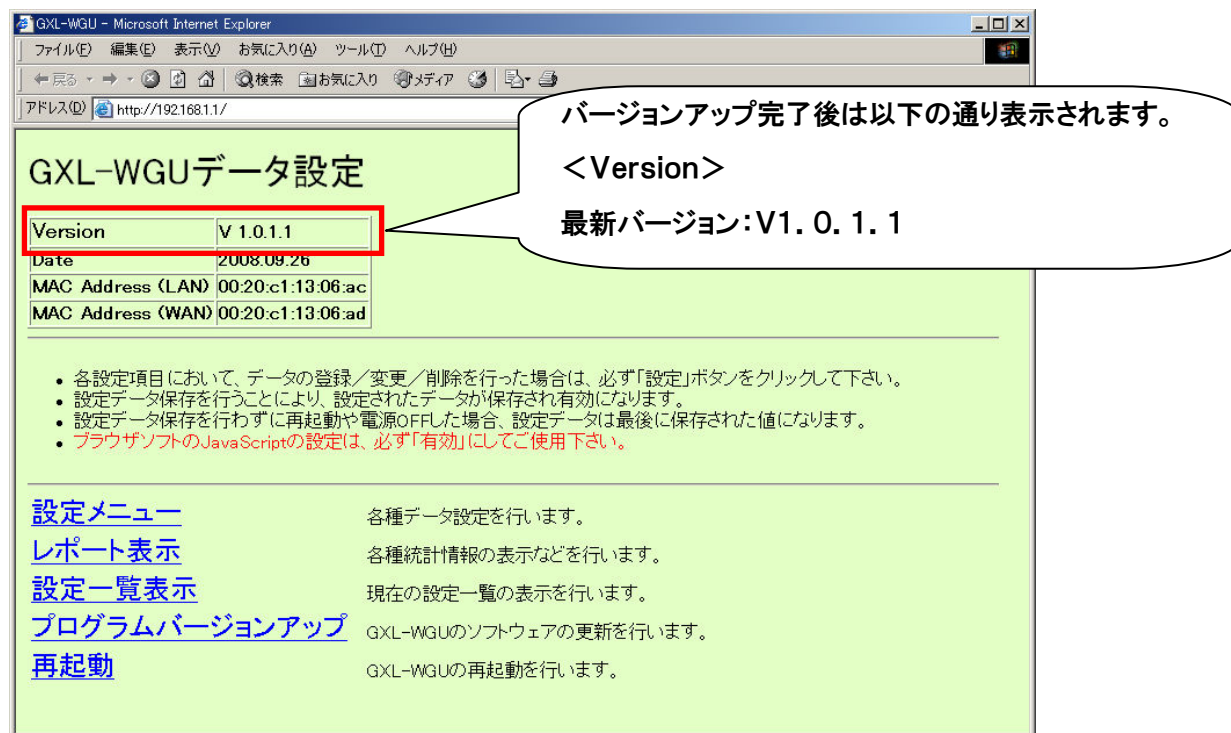
再起動中です。
メインメニューが表示されるまでしばらくお待ち下さい。

再起動中です。そのままお待ちください。

<注意>

再起動には、約30秒程度要します。この間、起動中のブラウザ操作等は行なわないようにして下さい。

【IPブロードバンドルータユニット用ローカルファームアップ手順書】



GXL-WGUデータ設定

Version	V 1.0.1.1
Date	2008.09.26
MAC Address (LAN)	00:20:c1:13:06:ac
MAC Address (WAN)	00:20:c1:13:06:ad

バージョンアップ完了後は以下の通り表示されます。
<Version>
最新バージョン:V1.0.1.1

- 各設定項目において、データの登録／変更／削除を行った場合は、必ず「設定」ボタンをクリックして下さい。
- 設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され有効になります。
- 設定データ保存を行わずに再起動や電源OFFした場合、設定データは最後に保存された値になります。
- ブラウザソフトのJavaScriptの設定は、必ず「有効」にしてご使用下さい。

[設定メニュー](#) 各種データ設定を行います。

[レポート表示](#) 各種統計情報の表示などを行います。

[設定一覧表示](#) 現在の設定一覧の表示を行います。

[プログラムバージョンアップ](#) GXL-WGUのソフトウェアの更新を行います。

[再起動](#) GXL-WGUの再起動を行います。

再起動後にメインメニューで最新のバージョンに更新されたことを確認して下さい。

以上でバージョンアップは完了です。